
壺の巻き一序章一

ALESU

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

壺の巻き―序章―

【Nコード】

N8281B

【作者名】

ALESU

【あらすじ】

午前12..00俺は何時もと変わらず夜の街を駆け巡っていた。しかし、今日を境に今日は今日で無くなった――

式の巻き―捕食者―(前書き)

疲れた…

式の巻き―捕食者―

午前12..00

俺は何時もと変わらず^{ひとけ}人気の無い静粛に包まれている街に繰り出した―

俺の名前は^{よしむね}吉宗^{ながれ}流。明日青帝高等学校の二年生になる。俺の趣味は夜の街を翔け巡る事。だから今晚は昔住んでた隣街に向かうことにした。

（久しぶりだな…此処に来るの。小学生以来だ。何処も変わっていない。あの駄菓子屋も変わっていない。そういえばこの辺りにアレがあったような…あっ！）俺は足を止めた。
そこには古びた鳥居があった。

（まだあった！！黒馬神社だ！）

此処は小学生だった俺はよくこの神社で遊んでいた。

（あの社に隠れて秘密の隠れ家にしたっけ。）

ギイツ…

鈍い音と共に扉を開けた。ツウーンとカビ臭い臭いが漂ってきた。
中はアチラコチラがボロボロで蜘蛛の巣が無数に張り巡らされていた。

（うげえ…随分汚くなったな…）

ギシ…ギシッ…

床が軋んだ。

（でも安心するな…この中にいると。よく母さんに叱られたときこの中に籠ったこともあったな。）

それから何時間たっただろう。俺は時間を忘れ思い出に浸っていたらしい。色んな事を思い出した。悪友のこと、近所に住んでいた好きなこの事…そんな思い出を胸にしまいながら社を出た。

満月が不気味なぐらい美しく輝いていた。
スゥーと夜風が頬をなぞった。

ブルッ

（今日の夜はやけに寒いな…っうか眠い…。早く家に帰ろ。）

俺はまた家まで走り出し社を後にした。

鳥居を出ようとした時、一人の男が立っていた。一見普通のサラリーマンに見えるが顔からは生気が消え失せ目が虚だった。

（何だ？こんな時間に。まあ、俺だけど。なんか顔色メツチャ悪そうだし。なんかヤバそうだな…関わらない方が絶対に良い…）

俺はペースをあげ男の隣を過ぎようとした時だ。突然男がボソッと何かを漏らした

『“トキ”は来タ…』ゾクッ…

全身に鳥肌が立った。（何だ…今の！？“トキ”は来タって何だ？ヤバイってマジでヤバッ…）

バタッ

「痛…ッ」

俺は何か足をつままれた気がした。

「なんなんだよ…っ！？」俺は目を疑った。

俺の足首に血の色をした舌らしき物が巻かれているのだ。急いで後ろを振り向くとさっきの男が肩をうなだれ顔をこっちに向け口から舌を出していた。

「っ…」

腰が抜けた

（ビビんじゃねえよ！？動け、俺！頼むから！っうかアレ何なんだよ！？あんな化け物がなんでいんだよ！？ありえねえよ普通！？…あっ！！コレ夢だ！！きつと眠すぎてどっか倒れて寝てるんだ！！だったら…）

ギュヴウウウ

「イゝダアアアア！？」

俺の願いは虚しく崩れさった…

俺は顔を上げた時、男と目があった。

その瞬間、男の口が耳まで裂けニタアと笑った。

カタカタッ

俺は震えが止まらなかった。

（俺今、蛇に睨まれた蛙の気持ちが解った……俺殺される……このままじゃ……）

頭ん中で警報が鳴っているのに体は銅像のようにその場から一步も動くことが出来なかった……。

す

ズルズル

男が舌を巻尺のように戻してきた。どんどん男にこっちに近づいていった……あと20m……9m……1m……（……もう駄目だ……）

俺目をつぶった時のことだった――

式の巻き―捕食者―（後書き）

マジで読むの！？うわあ…ヤバくね！？（嘘）まあ…楽しんでくだ
さい…（ニヤツ）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8281b/>

壺の巻き一序章一

2011年10月3日19時19分発行